

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2019年8月9日

上場会社名 田中建設工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1450 URL <http://www.tanaken-1982.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 采澤 和義
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 小池 正晴 (TEL) 03(3433)6401
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,552	—	92	—	101	—	59	—
2019年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	27.42	—
2019年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2019年3月期第1四半期において、四半期財務諸表を作成していないため、2019年3月期第1四半期の数値および、2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,533	3,449	76.1
2019年3月期	4,495	3,581	79.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,449百万円 2019年3月期 3,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	80.00	80.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2019年3月期 期末配当の内訳 : 普通配当 70円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	12.3	840	7.5	865	8.0	555	5.4	255.18

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、第2四半期(累計)の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	2,174,900株	2019年3月期	2,174,900株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	一株	2019年3月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期1Q	2,174,900株	2019年3月期1Q	一株
------------	------------	------------	----

(注) 1. 当社は2019年3月期中第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数 (四半期累計) を記載しておりません。

2. 当社は2018年8月29日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行株式数、期中発行株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米国を主体とする貿易摩擦や欧州各国政権の不安定化、中国を始めとするアジア新興国の景気下振れ懸念などにより、先行きの不透明な状態が続いております。

当社の属する建設業界においては、建設技能労働者の需給環境は依然として逼迫しており労務単価の上昇など、引き続き施工コスト面での不安は残るものの、民間建設投資・公共投資ともに堅調に推移し、安定した受注環境が続いております。

当社は今後の更なる業容の拡大・次ステージへのステップアップを図るべく2016年11月より2020年3月期を最終期とする中期計画“TANAKEN2020”をスタートさせました。営業面では、従来の主要顧客であるデベロッパー・ゼネコン・一般顧客からの受注拡大はもとより、あらたに再開発プロジェクト・官庁工事受注への取り組み強化を図ってまいりました。特に再開発プロジェクトに関しては、每期受注実績をあげる事が出来、新たな主要営業ソースとなってまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,552,474千円、営業利益は92,761千円、経常利益は101,173千円、四半期純利益は59,639千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末比44,445千円増加し、3,427,264千円となりました。主な要因は、工事債権の回収等により現金及び預金が242,997千円増加した一方で、完成工事未収入金が140,223千円減少し、受取手形が38,985千円減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末比6,444千円減少し、1,106,226千円となりました。主な要因は、投資有価証券が22,411千円減少した一方で、繰延税金資産が19,459千円増加したこと等によるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末比167,022千円増加し、1,007,651千円となりました。主な要因は、工事未払金の増加113,631千円、未払法人税の増加21,030千円、ならびに未払消費税の増加23,880千円等によるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末比2,522千円増加し、76,189千円となりました。主な要因は、退職給付引当金が1,154千円増加したこと、ならびに役員退職慰労引当金が1,368千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末比131,566千円減少し、3,449,650千円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少114,352千円、ならびに有価証券評価差金の減少17,214千円によるものです。

なお、利益剰余金の減少114,352千円は、配当金の支払による減少173,992千円と第1四半期純利益による増加59,639千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月15日付で公表しました当期の業績予想から変更ありません。

なお、上記に記載した業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,142,672	1,385,670
受取手形	87,197	48,212
電子記録債権	424,454	423,381
完成工事未収入金	1,498,356	1,358,132
未成工事支出金	43,456	45,419
前払費用	12,732	14,316
その他	173,949	152,131
流動資産合計	3,382,819	3,427,264
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	301,456	298,378
構築物（純額）	6,433	6,242
車両運搬具（純額）	2,030	1,743
工具、器具及び備品（純額）	21,798	19,841
土地	595,054	595,054
建設仮勘定	—	1,722
有形固定資産合計	926,773	922,981
無形固定資産		
ソフトウェア	1,560	1,450
その他	434	434
無形固定資産合計	1,994	1,884
投資その他の資産		
投資有価証券	143,719	121,308
長期前払費用	10,206	10,206
繰延税金資産	6,274	25,733
その他	25,352	25,762
貸倒引当金	△1,650	△1,650
投資その他の資産合計	183,902	181,360
固定資産合計	1,112,670	1,106,226
繰延資産		
社債発行費	22	—
繰延資産合計	22	—
資産合計	4,495,512	4,533,491

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	565,990	679,622
1年内償還予定の社債	8,000	—
1年内返済予定の長期借入金	72,876	47,640
未払費用	54,336	54,700
未払法人税等	36,597	57,627
未払消費税等	—	23,880
未成工事受入金	27,843	50,549
預り金	17,236	35,394
賞与引当金	20,157	30,198
その他	37,591	28,037
流動負債合計	840,628	1,007,651
固定負債		
退職給付引当金	39,132	40,287
役員退職慰労引当金	25,854	27,222
その他	8,680	8,680
固定負債合計	73,667	76,189
負債合計	914,295	1,083,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,156	297,156
資本剰余金		
資本準備金	249,156	249,156
資本剰余金合計	249,156	249,156
利益剰余金		
利益準備金	12,000	12,000
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,981,966	2,867,614
利益剰余金合計	2,993,966	2,879,614
株主資本合計	3,540,278	3,425,926
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,938	23,723
評価・換算差額等合計	40,938	23,723
純資産合計	3,581,216	3,449,650
負債純資産合計	4,495,512	4,533,491

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,552,474
売上原価	1,308,792
売上総利益	243,681
販売費及び一般管理費	150,920
営業利益	92,761
営業外収益	
受取利息及び配当金	3,220
受取賃貸料	5,174
その他	522
営業外収益合計	8,916
営業外費用	
支払利息	118
社債発行費償却	22
賃貸収入原価	358
その他	4
営業外費用合計	504
経常利益	101,173
税引前四半期純利益	101,173
法人税、住民税及び事業税	53,395
法人税等調整額	△11,862
法人税等合計	41,533
四半期純利益	59,639

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。